



なるせダムニュース

平成29年11月 第39号

東北ダム技術検討会を開催

10月18日(水)から19日(木)の2日間にわたり、湯沢市内と成瀬ダムを会場に、「東北ダム技術検討会」が開催されました。

この会は国土交通省東北地方整備局の建設ダムやダム管理に携わる“若手”ダム技術者が、日頃の業務における取組みや、疑問などについて、諸先輩や専門家からのアドバイスにより、技術力の向上を図ることを目的として毎年開催されているものです。

今年、成瀬ダムを会場に開催され、東北地方整備局の職員と、専門家として国土技術政策総合研究所及び土木研究所から約60名が参加しました。

1日目は専門家の方々から、ダムに関する最近の話題提供と、各ダムから事例報告があり、その内容についての質疑応答では、若手職員が積極的に質問するなど、活発な議論が交わされました。

2日目は成瀬ダムの施工状況を視察し、台形CSG型式としては、世界最大規模の工事現場に、参加者それぞれに学ぶことが多く、貴重な勉強の場となりました。



1日目は若手職員が事例紹介の他、積極的に質疑応答など行いました



左岸側ダムサイト付近で土質の説明や現在の工事状況などの説明を受けました



原石山や仮設備に関する説明を受けています

成瀬ダムでは、例年、東成瀬村産業祭にあわせ来場者を対象の現場見学を行ってきています。

今年は、産業祭が50回の節目の年であり、またダム建設も、ダム本体工事のための準備工事が本格化し、大規模な工事が行われています。

そこで、『特別見学会』として、全国に広く参加者を呼びかけることにし、より多くの方へ成瀬ダムと東成瀬村を知って頂くきっかけにしてみました。

今回最も遠かったのは、静岡県からお越しの男性の方でしたが、関東や新潟、福島、青森などから17名の参加があり、県内の方も合わせると、77名と多くの方に参加頂きました。

見学コースは、展望台、原石山付近、ダムサイト、2号トンネル内を見学頂きました。

普段見かけるバックホウよりも一度にすくう土砂が約7倍のバックホウや40tの土砂を積む事のできる重ダンプの動く様子、ダムサイトで行われた、ダム軸当てクイズでは、将来ダムができる場所に立ち、この場所にダムができることを感じて頂きました。

特にダムサイトでは、来年以降この場所に二度と立つことができない事に感激していました。

この見学会を通じ、多くの方に工事の規模の大きさ、迫力や醍醐味を味わって頂けたのでは無いでしょうか。

今後も、産業祭にかかわらず特別見学会を実施していく予定ですので、多くの方のご参加をお待ちしております。



事務所長自ら車内で説明



こんなに近くで見られるなんて!!と感激



2号トンネルはバスで中に入りました



正解は、2番の黄色いカラーコーンがダム軸です

第50回東成瀬村産業祭
～成瀬ダムコーナー～

今年の産業祭でも、成瀬ダムコーナーのスペースをいただき、ダム周辺で撮影された生き物写真や昆虫標本の展示、ダムに関するパネル展示など行いました。

また、今年は、少し趣向を変え、成瀬ダムカードの顔はめパネルや、立体パズル、ぬり絵、迷路などがお目見えしました。

見るだけのパネル展から、『写真を撮影』、『パズルで考える』、『色を塗る』、『迷路』など参加できる内容が増えましたが、皆さん参加されました？



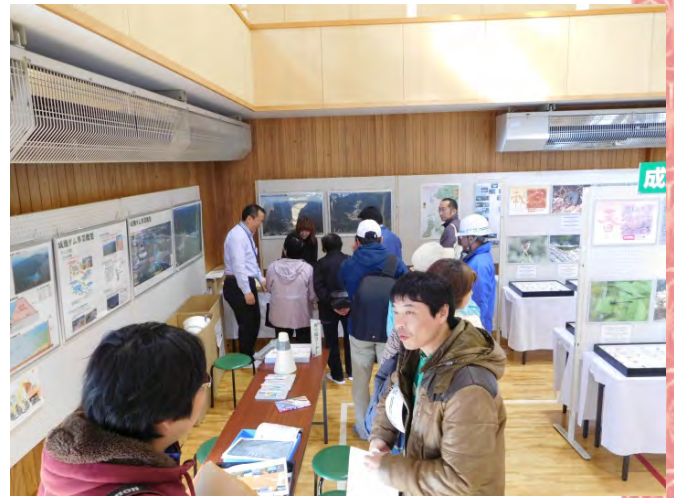
ダムの上から顔を出し、巨人のよう



ぬり絵や迷路に挑戦！



珍しい昆虫もいるよ



受付は成瀬ダムコーナーの奥です

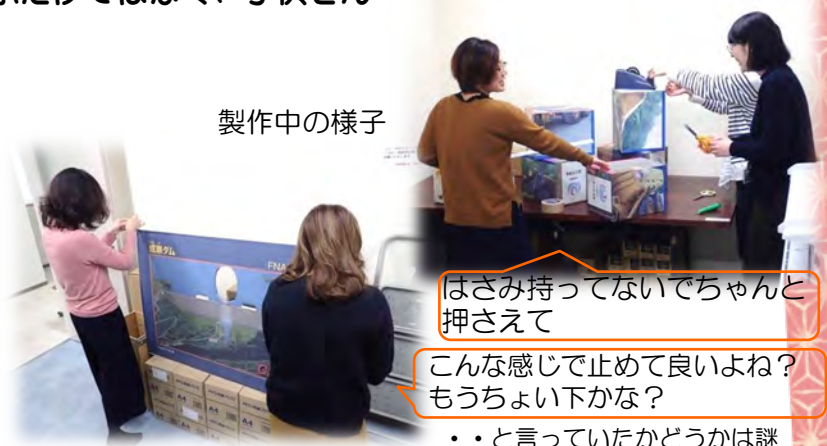
成瀬ダムコーナー ～メイキング～

今年の成瀬ダムコーナーは、パネル展示だけではなく、子供さんが参加できるものにした！！

そこで、成瀬ダム工事事務所で働く、5人の期間業務職員の力を借りました。様々な案が出ましたが、今年は立体パズルと顔はめパネルを製作することに。

材料は、コピー用紙の空き箱や自宅から、持ってきた、段ボールなどを利用して作成していました。

製作中の様子



はさみ持っていないでちゃんと押さえて

こんな感じで止めて良いよね？もうちょい下かな？

・・・と言っていたかどうかは謎

冬支度



冬の準備はお済みでしょうか？

雪囲い、スタッドレスタイヤの装着などお済みでしょうか。

成瀬ダムの工事現場では、10月30日に雪が舞つてと言うよりも一時吹雪いていたそうです。

国道342号は予定どおり、11月6日正午から冬期通行止めになり、冬ごもりになります。



しかし、ダムの工事も全て冬ごもりをするわけではありません。トンネル工事などは、雪が積もっていても工事を続けます。

国道342号冬期通行止め位置



その為、工事車両は通行止め区間も走行します。そこで、通行止め箇所には、交通誘導員を配置し、一般車両が紛れ込まないようにしています。

冬の間は、成瀬ダム展望台から工事の様子は見られなくなります。

再び見られるのは、来春までお待ちください。

なお、ダムカードを受け取る際のダムへ行ってきた証明写真は、この通行止め箇所では写真を撮影されるようお願いします。



地図は、国土地理院の電子地形図（タイル）に注記を追記して掲載

発行 国土交通省 成瀬ダム工事事務所 調査設計課

〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字宮田97-1

TEL 0182-23-8450(代表) FAX 0182-23-8449

URL <http://www.thr.mlit.go.jp/narusedam/>

成瀬ダム

検索

